

千葉県立長生の森公園 公共事業再々評価

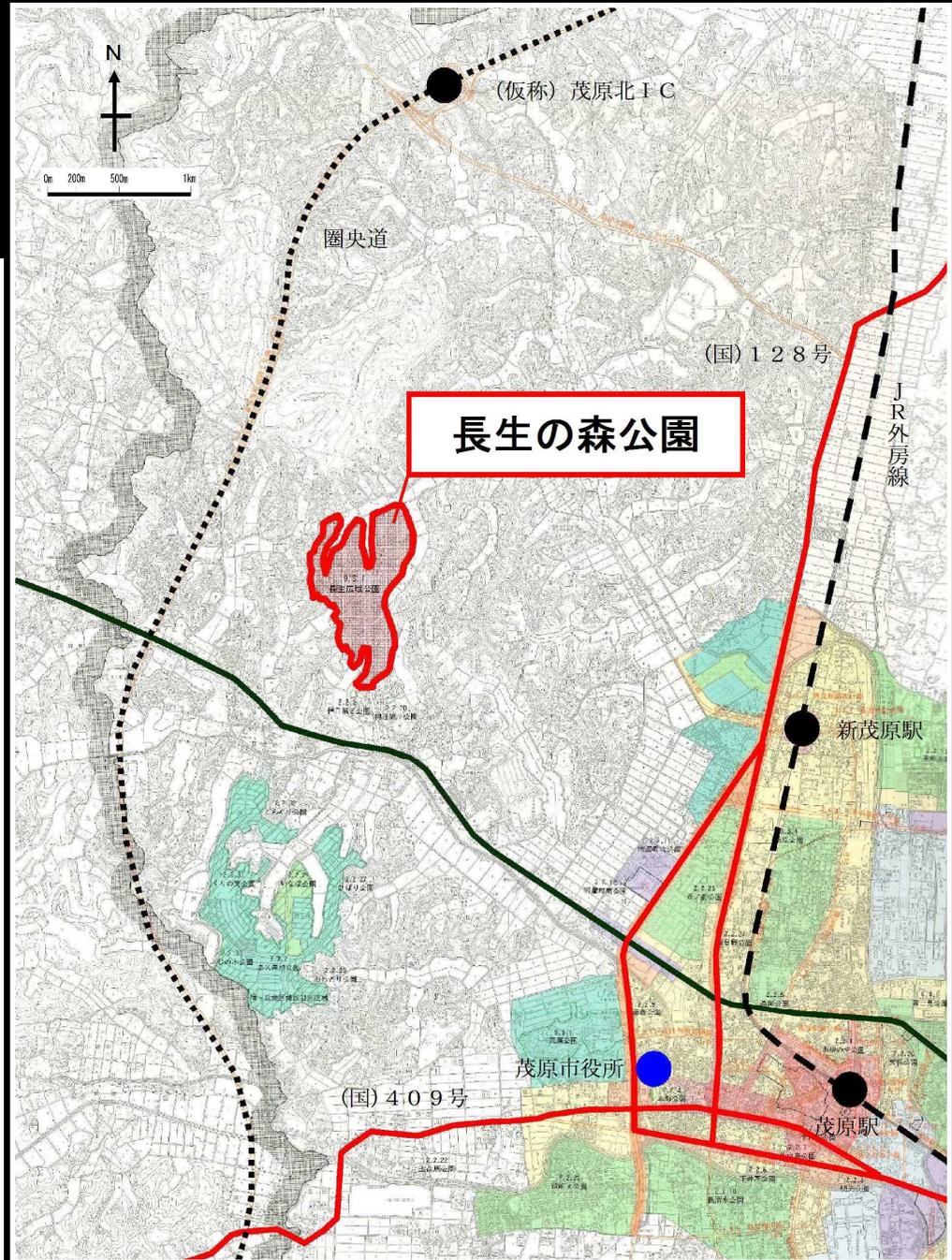
千葉県県土整備部公園緑地課

県立都市公園配置図



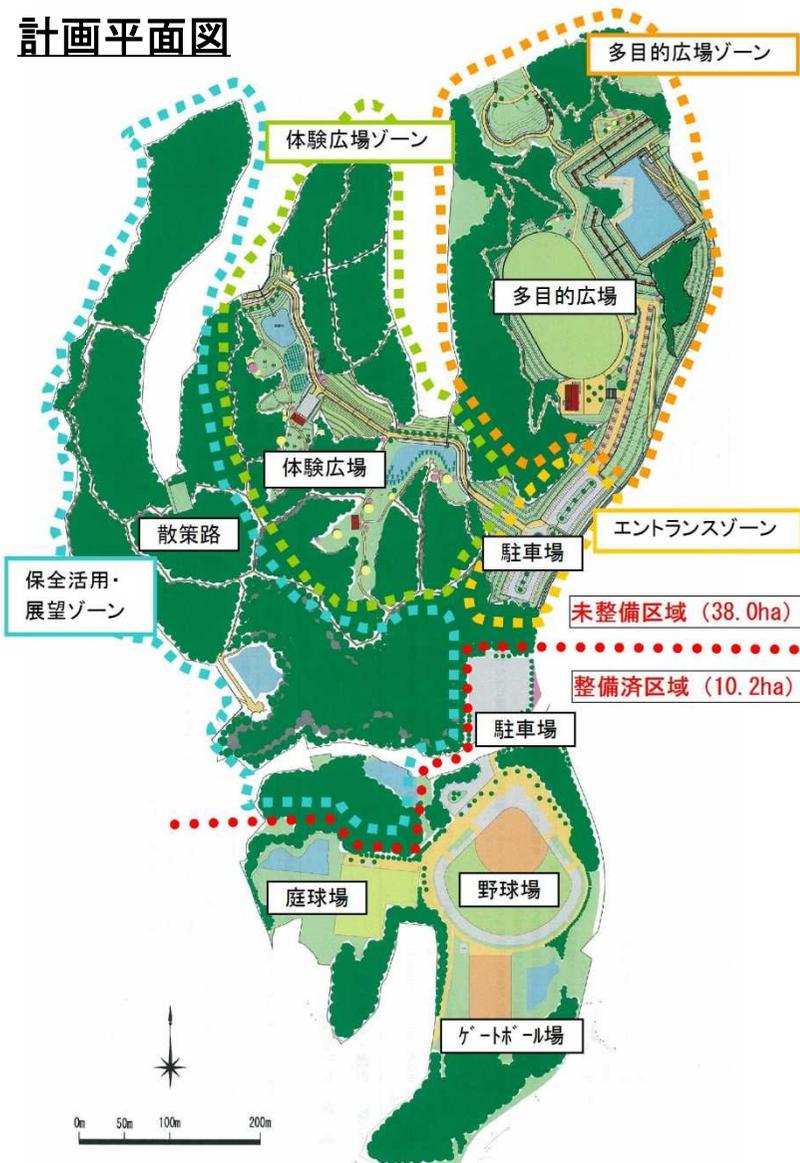
事業箇所図

県立都市公園配置図



事業の概要

計画平面図



位置	茂原市真名・押日地先
計画面積	48.2ヘクタール
種別	広域公園
都市計画決定	平成5年3月19日
事業認可	平成6年1月27日 平成20年3月6日(事業計画変更認可)
事業期間	平成5年度～平成29年度
総事業費	141億円 (用地費68億円、施設費73億円)
事業進捗状況 (執行額)	116億円 進捗率:82% (用地費67億円、施設費49億円)
部分供用 開始年度	平成14年度(南側区域 10.2ha) 主要施設: 野球場(H14)、庭球場(H15)、 ゲートボール場、駐車場(H16)
全体供用 開始年度	平成29年度(北側区域 38ha) 主要施設: 多目的広場、体験広場、散策路、 駐車場

事業の進捗状況

	全体金額	平成23年度末	進捗率
事業費	141億円	116億円	82%
うち用地費	68億円	67億円	99%
うち施設費	73億円	48億円	66%

○南側区域(10.2ha): 全面供用済み

・主要施設: 野球場(H14供用)

テニスコート(H15供用)

ゲートボール場、駐車場(H16供用)

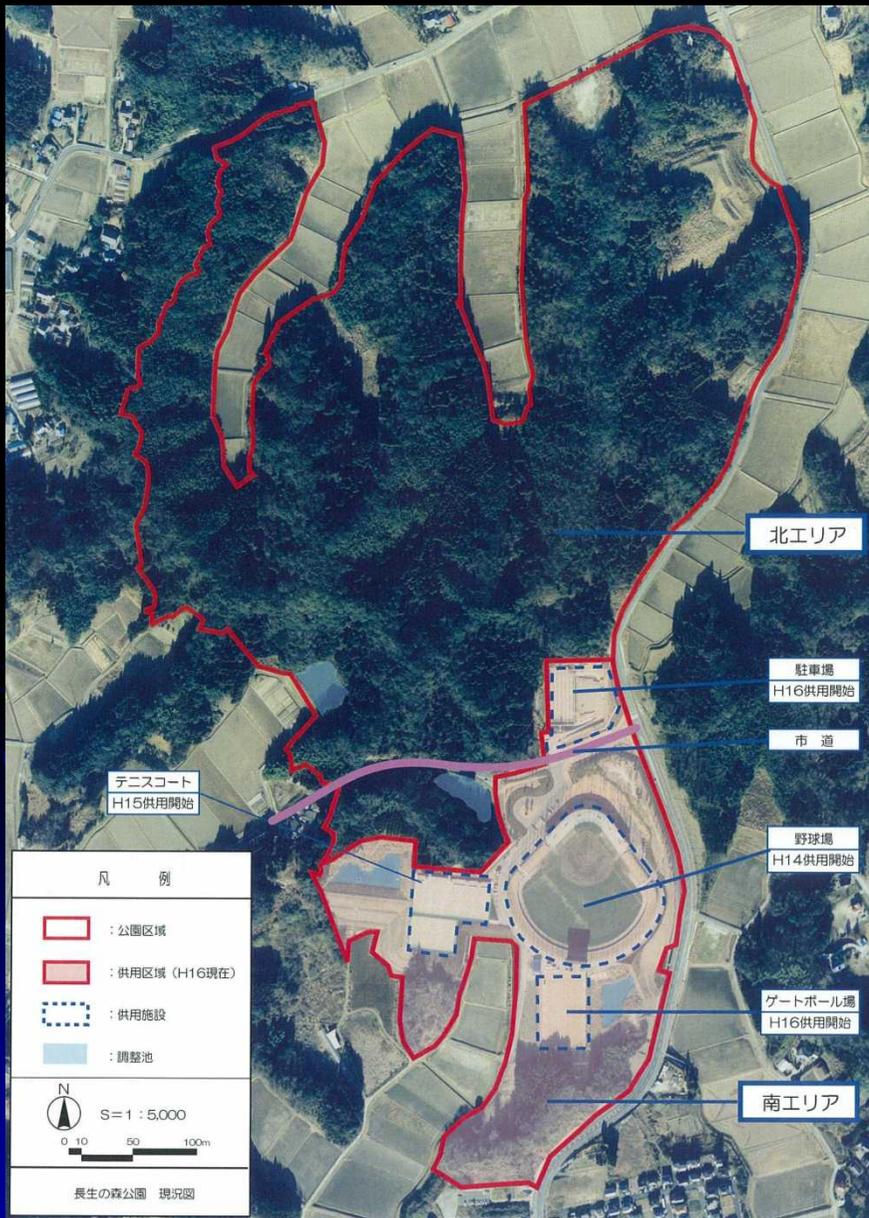
○北側区域(38.0ha): 整備中(平成29年度供用予定)

・現在、整備中の施設は、

伐採工、駐車場整備、多目的広場及び管理棟の盛土、

調整池及び排水路の整備

整備状況(南側区域)



整備状況(北側区域)

駐車場部



調整池付近



費用対効果分析について(1)

●費用及び便益算出の前提

基準年次 : 平成24年
検討年数 : 部分供用後50年間
(平成14年度～平成63年度)
社会的割引率 : 4%

●便益の算出

- 直接利用価値
- 間接利用価値

●費用の算出

- 用地費
- 施設費
- 維持管理費

現在価値の算出

便益の現在価値(B)

費用の現在価値(C)

社会的割引率

●費用便益分析の実施(B/C)

費用対効果分析について(2)

$$\text{便益(B)} = \text{直接利用価値} + \text{間接利用価値}$$

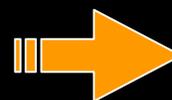
1 直接利用価値(旅行費用法)

- 県民が直接的に公園を利用することによって生じる価値

2 間接利用価値(効用関数法)

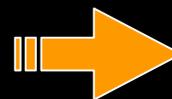
- 県民が間接的に公園を利用することによって生じる価値

・都市環境の維持・改善
・景観の向上



環境価値

・都市防災



防災価値

費用対効果分析結果(1)

分析実施年度	平成19年	平成24年
算出マニュアル	改訂 大規模公園費用 対効果分析手法マニュアル	改訂第2版 大規模公園費用 対効果分析手法マニュアル
基準年	平成19年	平成24年
供用開始年度	部分供用:平成14年度 全体供用:平成29年度	左側と同様
誘致圏	山武・長生・夷隅地域 17市町村	左側と同様
誘致圏人口 (全体供用時)	48万人	44万人
誘致圏世帯数 (全体供用時)	17万世帯	17万世帯

費用対効果分析結果(2)

○本公園の費用便益比(B/C)は1.35であり、本公園の整備に対して効果が得られることを確認

前回評価時(H19年実施)				今回評価時(平成24年実施)			
費用(現在価値)		便益(現在価値)		費用(現在価値)		便益(現在価値)	
用地費	82億円	直接利用	29億円	用地費	85億円	直接利用	12億円
施設費	78億円	間接利用	環境 120億円	施設費	91億円	間接利用	環境 110億円
維持管理費	22億円		防災 144億円	維持管理費	26億円		防災 151億円
合計(C)	182億円	合計(B)	293億円	合計(C)	202億円	合計(B)	273億円
B/C		1.61		B/C		1.35	

コスト縮減等

○施設整備費の縮減

- ・現場発生材の再利用
- ・現場内の過不足のない土量バランスの検討
- ・新技術の有効活用

○維持管理費の縮減

- ・企業やNPOを主体とした管理運営の検討

社会経済情勢等

- 1 東日本大震災の経験から大規模災害発生時に必要な施設の整備が求められている。
- 2 急速に進む少子高齢化社会と低迷する経済情勢の下で県民へのレクリエーション施設の充実を図らなければならない。
- 3 千葉東部地域の一人当たりの公園面積は、 $4.68\text{m}^2/\text{人}$ で県平均値($6.48\text{m}^2/\text{人}$)を下回っており、公園設備の必要性は高い(平成22年度末現在)。
- 4 南側区域のスポーツ施設での大会開催時等に駐車場が不足しており、駐車場の拡充要望が強い。

対応方針(案)

- 1 茂原市の広域避難場所に指定されており、地域防災計画上重要な施設であること。
- 2 圏央道開通との相乗効果が期待され地域の魅力アップを図ることで、より広域的な集客効果が見込め、公園利用者の増加が期待できること。
- 3 地域における一人当たりの公園面積が、県平均よりも大幅に少なく、地元からも早期完成が望まれていること。
- 4 北側区域の整備により既に供用している南側区域の利用促進が見込めること。



整備の必要性は高い



事業継続